

(右) 阿弥陀如来のご絵像を
ご安置したお仏壇です

(下) 「大分まちなか法話会」
のようす
たくさんの皆さんに
お参りいただきました
(8月19日
大分市コンパルホール)



ほんぞん
ご本尊をお供して
とも

ようこそ

第 41 号
浄土真宗本願寺派
円光寺
〒870-0108
大分市三佐3-15-18
TEL.097-527-6916
FAX.097-527-6949

手ぶらでどうぞ

八月十九日(土)に大分市コンパルホールで「大分まちなか法話会」を開催しました。

一昨年の四月にJR大分駅ビルが開業し大分の町が大きく変わる機会に、お寺を飛び出し大分の町中で法話会(毎月一度のご縁)を始めました。

八月のお盆月にはご講師をお招きして、これからのお寺のあり方を考える「大分まちなかお寺フォーラム」を一年続けて開き、今回は法話会ということとで、これまで仏教を聞いたことがない人にも来ていただきたいとの思いから「手ぶらでどうぞ」はじめての仏教のテーマで行いました。

お寺ではない場所での仏さまのご縁です。ご本尊の阿弥陀如来さまをお供して参ります。阿弥陀さまにお礼を申して法話会が始まります。

浄土真宗のお寺は聞法の道場といって、お釈迦さまが説かれた阿弥陀さまの本願念仏の救いの仏法を聞かせていただき、親鸞聖人が歩まれた苦悩の人生を乗りこえお浄土に生まれ往くお念仏の道をたずねていくところです。

お寺は聞法の道場としてご本尊を中心にしてすべての条件が整っています。お念仏の先人のあつい思いと絶え間ない精進でつくり上げ伝えられてきたお寺ですが、外から見たお寺はただの風景になり、お寺の敷居が高いなどといった先入観が、仏さまのご縁づくりを妨げているようにも思われます。いつでもどこでも誰にでも仏さまのご縁です。お寺でお参りの方を待つことも大事ですが、お寺から出かけて行くことも求められます。

手ぶらでその身一つでふらつといける所、そこに阿弥陀さまがいらつしやれば、そこは立派な聞法の道場です。ご縁づくりをすすみましょう。

お仏壇の片付けをしませんか

臨終勤行にお参りして

ご門徒さんが亡くなり、連絡を受けてお家にお参りします。

お仏壇をご安置している仏間にご遺体は横になっています。

さっそく臨終勤行(一般に枕経という)をお勤めするということですが、その前にお仏壇のお荘厳をさせていただきます。

大切なご家族とのお別れという悲しみのなかで、お仏壇が片付いてなく、お仏具がそろっていないなかつたり、浄土真宗のお仏壇にふさわしくないものが置かれてあったりして、少し時間をかけて基本的なお飾りをさせていただきます。

おばあちゃんの遺産

お仏壇のお世話はお家のどなたが主にされていますか？

おばあちゃんの役割になって

いるところが多いようですが、

そのおばあちゃんが亡くなると

大変です。どこにどんなものが

あるのかわかりません。初めて

開けるお仏壇の袋戸棚には色ん

なものが入り込んでいます。

おばあちゃんが大事にしていた

もの、ましてお仏壇にあった

ものですか、むやみに処分できません。誰に聞くこともできず困ってしまいます。迷います。

お寺さんに聞きましょう

日頃はお仏壇のことは見ることも考えることもなかつた方も、

仏さまのご縁です。お仏壇の片付けをして整理をしましょう。

分らないことは、何でもお寺に聞いてください。大事なもののや要らないものを区別して、要らないものはお寺で預かりします。

何か分からないものを大事なものと思込んでそのままにしておくと、今度は次の代の方が今以上に困り迷うことにもなります。今できる時に片付けるのが私たちの役割です。

ご本尊を中心とした生活

お仏壇はお家の中心にあつて真ん中にご安置するご本尊の阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)さまにお礼を申して私たちは日々の生活をさせていただけます。

家族が一堂に集まり、共に合掌しお念仏申してお礼ができるところが御仏前です。

だからこそお仏壇をいつもきれいにして心安らぎ親しみやすいところにしましょう。

先に往かれた大切なお方も、今は仏さまとられてお念仏申させていたただくなかにご一緒されていらつしやいます。

お仏壇のことなど仏事について何でも気軽に相談ください。

今はインターネットで調べられる人が増えていますが、同じ仏教でも宗派によって違いがあつたり、お寺や地域で昔から伝わる習慣もあつて、ネット検索だけでは分からないこともあります。

これも仏さまのご縁です。仏事は全て仏さまのみ教えがかた

ちになつた、意味のあるものです。共々に仏さまのお心を聞かせていただきます。

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

お仏壇の中陰期間中(49日間)のお仏壇のお荘厳です

世々生々

言葉は生き物だと思ふ。今回の総選挙では一つの言葉が選挙結果を大きく左右した。「政治家は言葉が命」ということだが、私たちの日常も多くの言葉が行き交い、言葉一つで昨日の友も今日は敵になることさえある。言葉は人と人をつなぐコミュニケーションの大事な手段であり、お互いの思いを確かめ合つて私たちは社会生活を営んでいる。人を思いやるあたたかい言葉は苦しみを癒す、つめたい言葉は人を傷つけ、私たちが不用意な言葉使用をして気づかないことも多い。一方で言葉一つが切り取られ独り歩きして真意が伝わらない、どかしさもある。◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

お朝事「法話」より

いのちをいただく

皆さんおはようございます。夜はよく眠れましたか。昨日から円光寺サマースクールということで今日のお昼まで38人のお友だちと一緒に佛寺の本堂で過ごします。いつものみんなの家の生活とは随分違いますね。

お友だちから「ここにはテレビがないの？」と聞かれました。この本堂にはテレビがありません。だからテレビを観ることはできません。でもテレビを観なくてもみんな元気だよ。ここで質問です。「この佛寺の生活でもみんなの家と同じようにしたことがあります。気づいた人は言ってください」



毎朝一番にお仏飯(ぶつぱん)を仏さまにお供えします

「お風呂に入った」みんなで大きな温泉のお風呂に入ったね。「夜、寝た」ベットも布団もない本堂でみんなと一緒に寝たね。「みんなと遊んだ」そうね一緒にゲームや色んなことをしたね。「阿弥陀さまと暮らした」阿弥陀さまが見守ってくれてたね。「わかった。ご飯を食べた」そうだね。家と同じように、昨日はカレーライスを食べたね。では次の質問です。「ご飯をずつと食べなかったらどうなると思いますか」



ご仏飯のおさがりをみんなで一緒にいただきます(8月1日、サマースクール)

「.....」何日もご飯を食べなかつたら病気になるって死んでしまいます。だから食べることは生きるということ。本当に大事なことなんだよね。さて今この正面の仏さまにご飯を上げてお供えしています。この後下げて食べます。出来立てのご飯をそのまま食べればい

いのちを、どうして仏さまに上げて食べて食べるのでしょうか。食糧不足というのをいただく前に「いただきます」食べた後に「ごちそうさま」と言ったね。いのちをいただくんです。お米の命、野菜さんの命、牛さん豚さん鳥さん魚さんの命です。そうして多くの命をいただくことによつて私たちは生きています。そして思つてほしいのは、どの命も仏さまの「あなたの命そのまま救いとるから、決してあなたを見捨てません」という大きな願いがかけられた命なのだということ。自分の命というけれども、仏さまから願われないでいたい。自分だけではない、隣の人も隣の人もみんな仏さまからいただ

いたいのちを生きているのです。仏さまの大きな願いのなかに色んな命をいただいて私のいのちがあるということ。忘れないで、お互いにいのちを大切に敬いあつて生きていきましょう。忘れたらナマンダブ(南無阿弥陀仏)と声に出してお念仏申しましょう。ナマンダブが聞こえますね。阿弥陀さまという仏さまの「みんなのいのちはいただきものです。大事にして生きてください。そしていつも私と一緒にいたいことを忘れないでね。お念仏申して思い出してね」というおよび声です。ご一緒にお念仏申しましょう。(8月1日)

お朝事にお参りしましょう
^ 毎朝6時30分~7時V

ご案内

◆御正忌報恩講

11月26日(日) 13:00~15:00
同 19:00~21:00
(子どもほうおんこう)

11月27日(月) 11:00~15:00
同 19:00~21:00

11月28日(火) 10:00~12:00

◆常例法座

12月18日(月) 10:00~11:30

◆除夜会(鐘つき)

12月31日(日) 23:40より

◆元旦会

1月 1日(月) 除夜会に引続き

◆初法座

1月 2日(火) 10:00~11:00

◆常例法座(親鸞聖人祥月御命日)

1月16日(火) 10:00~11:30

◆常例法座

2月16日(金) 10:00~11:30

“月に一度は
お寺参りしましょう”

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。



初盆会法要のお勤めの後、ご院家さんからお話がありました



初盆を迎えるご遺族も残って一緒に鶴崎踊りに興じました

8月12日

円光寺門徒初盆会法要のご縁に
第19回盆おどり大会をしました



第37回サマースクールにあわせて「朝の集い」をしました (8月1日)

— みんなでラジオ体操 —

夏休み期間中毎朝続けました



盆おどり大会の片付けの後、お手伝いの皆さんと一緒に (8月13日)



子どもたちと一緒に体を大きくのばして (8月1日)

夏の日のあさイチ
円光寺で会いましょう!!



今年は「萬謡会」の皆さんが本格的な民謡を披露してくれました (9月28日)

敬
老
会



夜のお座でお抹茶のおせつたいをしました (9月22日)



林 義丸師(佐伯市真宗寺様)にご法話お取り次ぎいただきました (9月22日)

秋季彼岸会法要

新婚さんいらっしゃい。



上野大介・菜摘ご夫妻が結婚奉告にお参りされ、記念にお念珠をおくりました (9月25日)

あ
と
が
き

65歳になった。いよいよ高齢者の仲間入りだ。さっそく市役所に行ってハワンコインバス乗車証Vをいただいた。一回百円で大分市内どこまでもバスに乗れるという優れものだ。介護保険証も届いた。
何か追いやられるような感じで、人生の第四コーナーに突入したように思う。
これまでの人生を振り返り、果たして何をしてきたかなとも思う。黙っていても何も思わなくても時は過ぎゆく。本当に早い。身の処し方を考える時が来たようだ。覚悟して今私にできることをさせていただけよう。